

ニュース いちしNEWS

一志総合支所
地域振興課 発行
電話293-3000
FAX293-5544
平成28年9月16日
第31号

新津市誕生
10周年!

いちし夏まつり

7月31日(日)恒例のいちし夏まつりが開催されました。
会場をとことめの里一志に移して3回目となる今年の夏まつりは、「新津市誕生10周年」を記念して、内容がこれまで以上に充実したものとなりました。
ステージイベントを中心にした昼の部は、強い日差しにも負けず盛り上がり、鉄道模型や血管年齢測定等の保健コーナーも大勢の皆さんで賑わいました。
昼間の熱気が冷めない中行われた夜の部は、盆踊りを中心に、数々の屋台や景品の抽選会などに、たくさんの来場者が集まりました。



勢いよく走る
鉄道模型に興味津々



花火も昨年より
パワーアップ!



好評の大抽選会

多くの方が参加した盆踊り。
今年から、新曲「津のまち音頭」も加わりました。



小学生チアダンスチームのパフォーマンスで開幕!



猛暑にも負けず、ステージも盛り上がりました。

第4回津市自治会連合会役員会開催

7月28日(木)第4回津市自治会連合会役員会が開催されました。
この役員会は津市内の自治会連合会各支部の会長に参加いただき、会場は各総合支所持ち回りで開催されるもので、今回は一志地域で行なわれ、とことめの里一志を会場に各種委員の選任及び報告、県自治会連合会の報告などを行った後、場所を廃校となった旧大井小学校と旧波瀬小学校へ移し、それぞれの校舎の利用状況とそれに係る成果や課題などを、校舎を利用されている大井町づくり委員会・一志学園高等学校と波瀬まちづくり協議会のスタッフから説明を受けました。
地域のニーズが多様化し、自治会長の皆さまに担っていただく役割もますます重要になる中、このような機会が重要な意見交換の場となっています。



健闘！ 三重県消防操法大会出場 一志方面団

7月16日（土）鈴鹿市石薬師町の三重県消防学校で、平成28年度三重県消防操法大会が行われました。消防操法大会は、消防団員の技術の向上と意識の高揚を図るために行われ、県内の消防団が模範的な消防操法を実施し、消火の速さや動作の正確などを競います。

今大会には、三重県下から12隊、約1,000人が参加し、優勝した隊は、10月14日（金）に長野県長野市で開催される第25回全国消防操法大会に三重県代表として出場します。

津市消防団からは、一志方面団と芸濃方面団が出場し、参加した団員たちは、この日のために数ヶ月間積み重ねてきた訓練の成果を披露しました。

惜しくも優勝を勝ち取ることはできませんでしたが、きびきびとした動作で小型ポンプを操作を行い、訓練の成果を十分に発揮しました。

来賓や観客からは、選手や長期に渡る訓練をサポートした全ての団員の皆さんに惜しみない拍手が送られていました。



ミニデイサービス事業「あいあいサロン」

川合文化会館では毎月第1・3木曜日に、65歳以上の方を対象としてミニデイサービス事業「あいあいサロン」を実施しています。

毎回5～6人の方が参加され、簡単な健康診査の後、お家でのできごとについて話し合ったり、歌を交えた体操で体を動かしたりして過ごされています。時には、折り紙でアジサイやアサガオの花、ホタル等を折ったり、季節のカレンダーを作るなど、簡単な作業も行っています。



取材に訪れた8月5日（金）は、簡単な体操や歌の他に、乳幼児とのふれあい事業で使う、手作りのマラカスを作りました。ペットボトルを再利用し、きれいにデコレーションされたマラカスは、上々の仕上がりで、参加された方は「これを使う小さな子供たちは、きっと喜んでくれると思います。」と、出来栄えに大満足の様子でした。



不測の事態に備えて ～水防訓練～



6月12日（日）、市立高岡幼稚園・高野保育園の運動場で津市一志地域水防工法訓練が行われました。

台風や集中豪雨等による水害が全国各地で発生し、そのたびにニュース等で大きく報じられていますが、一志地域でも近年、台風等で河川が増水し、冠水などの被害が発生しており、自然災害への意識は年々高まっています。

こうした中、水害に迅速に対応し、被害を少しでも軽減するためには日ごろからの準備が大切ということで、消防団員、自主防災会員や地域住民が協力して水防対策技術の確認と習得に励みました。



最近には様々な施設にAED（自動体外式除細動器）が設置されるようになってきました。不測の事態が発生した時に、私たちの命を守ってくれる重要なアイテムになるAEDですが、皆さんは正しく使用することができますでしょうか？

この日は水防訓練と合わせて、AEDの使用と心肺蘇生講習も行われ、参加者の皆さんは真剣な表情で取り組んでいました。

災害は発生しないことが一番ですが、発生した時どのように対応するかを再確認することができた重要な体験となったようでした。

願い事が叶うといいな ～幼稚園・保育園で七夕会～

7月4日（月）高岡幼稚園・高野保育園では一志町の老人クラブの皆さんをお招きし、七夕笹飾りづくりをしました。

園児たちは、老人クラブの皆さんに手伝ってもらいながら七夕飾りを作り、大きな笹いっばいに飾り付けを行いました。

「仮面ライダーになりたい!」「大きなケーキを食べたい」など、かわいい願い事が書かれた短冊でいっばいになった笹飾りが完成して、みんな大満足でした。

園児からは手伝ってもらったお礼に元気いっばいの歌とお礼の言葉が書かれた手作りのメダルが渡されました。

楽しい時間はあっという間に終わります。最後はハイタッチで感謝の気持ちを伝え、笑顔いっばいの七夕会を締めくくりました。



背が届かない高いところは、老人クラブの皆さんにお任せ。

いっばい食べて大きく育てね

蚕を育てています

一志地域は古くから養蚕業が盛んに行われていた地域でした。

時は進み、大規模な養蚕や製糸は行われなくなりましたが、当時の地域の産業の記憶を風化さすまいと、地域の皆さんで作る蚕の研究グループが、JA三重中央の倉庫を利用して蚕を育てています。

8人のメンバーが交代で世話をされていますが、最近では餌となる桑の葉を手に入れることが難しく、波瀬地区にある農家をお願いして、なんとか手に入れているとのことでした。

取材した6月1日（水）は蚕がう化してから4日目で、体調5ミリ程度。この後5回の脱皮を繰り返して、6月末ころには無事繭を作りました。



蚕の見学に行きました!



6月13日（月）高岡幼稚園、高野保育園の年長園児が、近くの倉庫で飼育されている蚕を見学しました。

一列に並んで、園舎から見学場所まで徒歩で移動する間も、友達とのおしゃべりの内容は蚕のことばかりで、10分程歩いて飼育場に到着した園児54人は、蚕の研究グループの方から、蚕に関する説明を聞いた後、桑の葉を受け取り、順番に餌やりを体験しました。

与えられた新鮮な桑の葉をみるみるうちに穴だらけにしていく蚕の食欲に、園児たちも驚いたようで、指をさしながら大きな歓声を上げていました。

最後に、プレゼントとして一人づつ繭をもらい、友達同士で見せ合っていました。



シリーズ 地域の名所旧跡 . . . その①

くり抜き家形石棺（井関地区）

《三重県指定文化財》



延命寺の全景



くり抜き家形石棺

延命寺の境内には、1955年（昭和30年）4月に三重県より考古資料として文化財指定された「くり抜き家形石棺」が保存されてます。

この石棺は幅約100cm、長さ約210cm、高さ約45cmの井関石の内側を、幅約45cm、長さ約160cm、深さ約30cmくり抜いた棺身に、長さ約230cm、幅約90cmの家形をした蓋を組み合わせたもので、棺身、蓋共完全に揃っている同種の石棺としては、県下最大といわれています。しかし、この石棺は元からここにあったものではなく、平岩の奥田家の宅地内から発見されたものを運んできたといわれています。

石棺に関する言い伝えによると、今から約230年前のこと、奥田家は現在の山本橋の付近に居を構えていたが、度重なる波瀬川による水害にこりて北よりのところに屋敷を求めて家を建てたそうです。更に倉を建てるため整地したところ、出てきた大きな石が変な響きがするので調べてみると石棺であったため発掘しました。中を調べてみると、ぼろぼろになった剣と1寸8分（約5.4cm）の金の観音様が収まっていたので、これは大切なものと思い平岩中の手伝いのもと延命寺まで運んだそうです。その後その金の観音様の話を聞いた紀州の殿様の沙汰により持参したところ、程なくして戻ってきたのは木造の観音様であったといいます。

（引用主要文献「一志町史」）

文化振興課よりおしらせ

津市文化振興基金自主事業
羽田朝子記念映画
上映会

映画・演劇の分野で役に立てて欲しいとの思いを込めて、多額の遺贈をいただきました故羽田朝子さんへの感謝の思いを込めて、今年も記念映画上映会を次のとおり開催します。

入場無料

当日先着順
席数には限りがございます。

上映映画

- ① フラガール（120分）
 - ② 太平洋ひとりぼっち（97分）
- ※①は、バリアフリー映画（日本語字幕付き）

とき 10月29日（土） 13時00分
（12時30分開場）

ところ 一志農村環境改善センター 多目的ホール
（定員360名）

問い合わせ 文化振興課 ☎059-229-3250



あたりまえ 誰が決めたの その基準 人権標語より